

卓球競技会実施要項

1. 競技規則

開催年度の（公財）日本障がい者スポーツ協会制定「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び同年度の（公財）日本卓球協会制定「日本卓球ルール」、並びに本大会の申し合わせ事項を適用する。

2. 参加区分

- (1) 身体障がい者は、下記の競技区分で競技する。
 - ①個人競技は、「卓球競技種目・障がい区分表」の4種目から1種目を選択する。
 - ②団体競技は男女混合で、1チーム3名とし1名の補欠を置くことができる。
※障がい区分番号15を除く。
- (2) 知的障がい者は、下記の競技区分で競技する。
 - ①個人競技は、「卓球競技種目・障がい区分表」の3種目から1種目を選択する。
 - ②団体競技は男女別で、1チーム3名とし1名の補欠を置くことができる。
- (3) 精神障がい者は、下記の競技区分で競技する。
 - ①個人競技は、「卓球競技種目・障がい区分表」の3種目から1種目を選択する。
 - ②団体競技は男女別で、1チーム3名とし1名の補欠を置くことができる。

3. 服 装

- (1) 運動に適した服装とする。
- (2) ゼッケンは主催者側が交付するものを使用し、競技用服装の背部につける。

4. 大会開始前練習時間

受け付けを済ませた後、開会式の合図があるまでは練習を許可する（練習球は各自で用意すること）。

5. 招 集

- (1) 招集は競技場内で行い、競技進行により放送で案内するので競技役員の指示に従う。
- (2) 招集完了時間は試合開始の10分前とする。

6. 入 退 場

競技場への入退場は、競技役員の誘導により行う。

7. 競技方法

- (1) 競技進行は、プログラムのとおりとする。
- (2) 使用する球は主催者が用意する。
- (3) 個人・団体競技とも原則としてトーナメント方式により勝敗を決める。ただし、参加人数によってはこの限りではない。
- (4) 個人・団体競技とも5ゲームズマッチの3ゲーム先取により勝敗を決める（ラージボールは3ゲームズマッチとする）。
- (5) 個人競技終了後、団体競技を行う。
- (6) 団体競技参加チームは試合ごとにオーダー用紙を提出する。
- (7) 個人・団体競技とも3位決定戦は行わない。
- (8) 団体競技について、人数を満たさない場合でもエントリーは可能だが、オープン試合とし、敗者（勝ち進めない）とする。
- (9) サービスは、得点の合計が2ポイント増すごとに交代する。また双方が10ポイントになった時は、順序を変えず1ポイントごとにサービスを交代する。
- (10) 1ゲームごとにコートチェンジする。最終ゲームでは、どちらかの選手が5点に達した時点でチェンジエンドとする。
- (11) フリーハンド（ラケットを持っていない手の手首より先）がコートに触れても失点としない。ただし、コートを支えて打ったり、テーブルを動かしてはならない。
- (12) 身体的理由により、主審の承認を得て、審判員が相手にサービスの仕方について変更を知らせた場合には、サービスの規定を緩和することができる。また、知的障がい者・精神障がい者についても、主審が対戦者の不利にならないと認めた場合、サービスの規定を緩和することができる。

- (13) 車椅子使用者は、シートから身体を離してプレーをしてはならない。また、プレー中にフットレストが床についた場合も失点とする。
- (14) 車椅子使用者が正しく出されたサービスをレシーブする際、ボールが①レシーバーのコートに触れた後、ネット方向に戻った場合、②レシーバーのコートに止まった場合、③レシーバーのコートに触れた後、どちらかのサイドラインを横切った場合は、ラリーはレットとなる。ただし、「レット」が宣言される前に打球した場合は、そのまま有効となる。

【一般卓球】

- (1) 5ゲームズマッチの3ゲーム先取により勝敗を決める。
- (2) 1ゲームの勝敗は11点先取とする。双方のポイント10－10以降は2ポイントリードした競技者を勝ちとする。
- (3) ネットの高さは、15.25cmとする。
- (4) トスの高さは16cm以上とする。
- (5) 使用球は主催者が用意する。(公財)日本卓球協会公認、ニッタクのプラスチック球(40mm、白球)を使用する。

【ラージボール】

- (1) 3ゲームズマッチの2ゲーム先取により勝敗を決める。
- (2) 1ゲームの勝敗は11点先取とする。双方のポイント10－10以降は2ポイントリードした競技者を勝ちとする。
- (3) ネットの高さは、17.25cmとする。
- (4) トスの高さは16cm以上とする。
- (5) 使用球は主催者が用意する。(公財)日本卓球協会公認、ニッタクのプラスチック球(44mm、白球)を使用する。
- (6) 使用ラバーは、表ソフトとする(3mm以下)。

【サウンドテーブルテニス (STT)】

- (1) 5ゲームズマッチの3ゲーム先取により勝敗を決める。
- (2) 1ゲームの勝敗は11点先取とする。双方のポイント10－10以降は2ポイントリードした競技者を勝ちとする。
- (3) 競技領域は、長さ8m、幅6m、高さ2.4m以上とする。ただし、会場によってはこの領域を確保できない場合もある。
- (4) 使用球は主催者が用意する。(公財)日本障がい者スポーツ協会公認プラスチック球を使用する。
- (5) 主催者が用意したアイマスクを着用する。
- (6) 認められた休憩時間、緊急中断を除き、競技は1マッチを通して継続的でなければならない。